



西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会



2019

会長あいさつ

西麗会会長 大熊 幸雄 (昭和41年卒)



西麗会会員の皆さん、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成30年5月に開催された総会において、第四代の村上明夫会長が退任され、後任に選任された大熊幸雄と申します。

村上会長は、高橋幸雄会長の跡を継いで平成25年5月会長に就任し、「国際交流のための財政的援助」と「西麗会文庫の設置」を内容とする「グローバル応援プロジェクト」を立ち上げ推進し、西麗会に多大な貢献をされました。ここから御礼申し上げます。

私は母校を卒業して50年以上が経ちますが、14年ほど前から西麗会広報部の業務に携わるようになり、会報の発行やホームページの管理・運営を担当してきました。

会長職を担うことになり身の引き締まる思いです。微力ですが、西麗会会員のため、母校のために努めて参りますので、どうぞ、よろしく、お願い申し上げます。

さて、昨年は昭和49年卒の西野朗さんがサッカー代表監督として指揮し、日本中を熱中の渦に巻き込みました。9月には浦和西高サッカー部OB会による「西野朗氏慰労会」が開催され、併せて、現役の男女サッカー部員180人を対象に西野氏による「ミニ講演会」が開かれました。今年の1月、西高グラウンドで行われた初蹴りでは、現役男子とOBによる交流試合などに232人が参加したそうです。母校の卒業生の活躍は誇らしいものであり、これからも期待したいと思えます。

前号で呼びかけのありました「埼玉県教育環境整備基金」につきましては、9ページに学校からの報告にあるとおり、目標額を達成したとのこと、ご協力に感謝申し上げます。

西麗会に対する寄付につきましても、西麗会の大事な収入源ですので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

表紙のことば

妹いもに似る草と見しより

わが標しるしめし野辺の山吹たれ誰か手折たをりし

おおもものやかもち
大伴家持 (巻十九―四一九七)

「あなたに似た草だと見てから

わたしが標しるしをした野辺の山吹を誰が手折ったのだろう。」

ヤマブキは三月から五月にかけて、低い山地や水辺に生えるバラ科の落葉低木。枝が細く山の微風にもすぐ振り動くことから「山振」の字があてられ、ヤマブキに転化したらしい。

この歌は、家持が越中に赴任して都を去ってしまったことを嘆く妹いもの留女りゆうにょ之女郎のいらぬを慰めるために贈ったもの。

太田道灌の故事に引用される歌に「七重八重花は咲けども山吹の実のひとつだになきぞ悲しき」があるが、これは実の付かない八重のヤマブキにみの窠みひとつない悲しさを重ねている。家持の歌は実を付ける一重のヤマブキを詠んでいる。

撮影地は五月中旬の見沼自然公園。子どもどころ、ヤマブキの花を初めて見たのと、ヤマブキイロと記されたクレパスを見たのどどちらが先だったか覚えていないが、雑木林の下でそこだけあでやかな黄色に染まる花群れを見かけると、きまってヤマブキイロのクレパスを想いだす。

(参考) 「万葉の庭―散策の菜」 (西麗会)

私と西高

本質のありか

丹治(星野)朋子(昭和63年卒)



譜を書いてもらって、オーケストラが演奏したものを録音すればいいよね」と友人が言いだしたことを鮮明に覚えています。そんな無茶な!

この無理な願いを米原豊先生と埼玉青少年交響楽団が引き受けてくださいました。米原先生からは、「さすがに一から譜面を書くには時間が足りない」と言われ、バンドメンバーの助けを借りながら、私がメロディー譜を作成しました。先生は本当に大変だったこととお察しいたします。

4年前、クラスの一部のメンバーとともに、約30年ぶりにあらためてビデオを鑑賞しました。

最初はざわついていた体育館がだんだん水を打ったように静かになり、笑い声やアクションシーンでの歓声など、会場が一体となって1時間20分の舞台はあつという間でした。高校生でよくぞここまでやったと思います。

西高祭の翌日、アニー役で主演した伊藤麻子さんは1年の語学留学のため

に渡豪しました。その日の教室の様子を、担任の野々垣務先生は後に『国語フォーラム』に次のように記しています。

「3年4組の多くの仲間たちが月曜の授業をサボって見送りに行った。(中略)教室には居残った者たちがバラバラしかない。困った。こんなことにならなければという予感がズバリ当たってしまった。(中略)え、ままよ、それならそれでもよい。彼ら彼女らは、或は授業よりも、いや授業では得られない大切に大きなものを学んでいるのかも知れないから」と。クラスの多くが成田空港まで見送りに行ったのでした。(かなりぼーっとしていた私は、この日、教室におりました。)

決して真面目な生徒ではありませんでしたし、取り組みの濃淡はありましたが、西高ではこのような懐の深い先生に囲まれ、日々、友人と議論を重ねて、回り道しながら「何を大切にすべきか」という考える力を育てていただいたように思います。

今、私は大学で観光学を教えています。面倒なことを回避して、効率よく、すぐに役立つものを求める学生が増えているように感じています。しかし、すぐに役立つことだけでなく、今考えることでこれからの人生が豊かになる、物事の本質を見きわめ



ミュージカル「アニー」の舞台
(写真は西麗会広報部が卒業アルバムより転載しました。)

る力をつけてあげられたらと願っています。
なお、冒頭の音楽の話ですが、高校の先輩の勧めで、大学からはジャズピアノに転向し、今でも、西早稲田の小さなバーに月1回出演しています。

プロフィール

川村学園女子大学生活創造学部観光文化学科教授 目白観光文化研究所副所長、日本観光研究会理事、日本フードサービス学会監事。小学3年生男児の母。

あの友
この友



題字・カット
山本鐘互
(昭和40年卒)

鎌木美恵子(昭和14年卒) 岡山市

毎年、会報を楽しく拝読しております。長年の趣味を生かし、カラオケ、生花、茶道を楽しみ、又、体操教室にも行き元気に過ごしております。

諏訪部(成田)うた子(昭和18年卒) 川越市

今年九十一才になりました。病気ひとつしないで元気でいられること幸せです。

鶴澤(荻野)美夜(昭和27年卒) 横浜市

真赤なヤブツバキの会報を嬉しく拝見。超高齢化社会の日本、健康寿命の生活を保ち、ヴェルデイのオペラ椿姫を流しながら「テレビで中国語」を勉強しています。

安達時彦(昭和29年卒) 川越市

今年11月23日(土)〜29日(金)川口そごう埼玉画廊。21年3月3日(水)〜9日(火)日本橋高島屋。22年に日本橋三越にて個展開催の予定です。人生まだこれから。観て頂けたら幸いです。

原 惠行(昭和30年卒) さいたま市

東水大修了後専門商社に。キューバ危機の翌々年ハバナでカストロ兄と単独会見

が鮮烈な懐古。詩吟詩舞に傾倒。三〇同期会は二年毎に。水泳空手で鍛え無病息災。

松崎洋右(昭和30年卒) さいたま市

西麗会会報楽しく読んでいます。大宮南成中学高等学校理事長として、現役続行、埼玉私学の頂点を目指して。

加藤(矢部)正納(昭和30年卒) 上尾市

私りそな銀行サポートアドバイザー。りそなグループ①住宅ローンフラット35子育支援②確定拠出年金公務員主婦も加入OK 29年1月スタート③積立ニイサ確定30年1月年40万20年間④30年4月1日自転車賠償保障の加入義務化等の業務改善提案。

荒井利尚(昭和31年卒) さいたま市

新元号に移行する年、国際世論に背を向けた北朝鮮の核開発や、米トランプ政権の動向、北方領土返還、予測不能な地震や津波、集中豪雨、台風。世界の平和を願うばかりです。

田島(今尾)洋子(昭和31年卒) さいたま市

秋の「緑綬褒章」受章と傘寿の祝い・主人快

気祝い・6人の孫との計13個のお祝い・45年続けて来た音楽教室を孫が継ぐ準備に入り68年続けて来たテニス続行中!!

難波竹一郎(昭和31年卒) 小諸市

29年春、少し暖かい所を求め、軽井沢から小諸へ転居しました。やはり山の上ですが、雑木林の中、畑もやりながら元気です。免許証も30年春に更新しました。

飯塚(寺尾)トキ(昭和33年卒) さいたま市

いつも会報送っていたき有りがとうございませ。楽しみにしています。総会に参加出来ませんが、毎日忙しく過ごして居ります。

沢村(前川)栄子(昭和34年卒) さいたま市

先生や同級生の訃報を目にする度に心が痛みます。私自身も体力の衰えに情けない思いをしておりますが頑張っています。

松田正剛(昭和35年卒) 三鷹市

雑木林の坂道を抜けると新校舎。個性的な先生方、すばらしい環境で学び遊んだ三年間。生涯現役を目指しよく学び、遊び、社会貢献に日々健やかに過しております。

八木 正(昭和35年卒) 大町市

木工作業で「やる気」を貰い、田舎生活を楽しんでます。先日「ピンコロ地蔵」の頭をなげて願掛けしてきました。荒井桂先生、半寿で出版との事「万歳」。

遠藤(岩崎)ヒロ子(昭和36年卒) さいたま市

第42号 私と西高「合唱に魅せられて」

会員訃報

心よりお悔やみ申し上げます。

寺田(鳥羽)文子(昭和14年卒) 練馬区

母、寺田文子(旧姓鳥羽)は、平成29年8月12日に95才にて永眠いたしました。生前のご厚情ありがとうございました。長男 鳥羽至英 した。

上野(内田)瑤子(昭和15年卒) 日野市

平成30年1月8日に亡くなりました。

松井(馬場)孝子(昭和16年卒) 川越市

母松井(馬場)孝子は平成27年6月18日永眠いたしました。大変お世話になりました。会報ありがとうございました。生前のご厚志に感謝申し上げます。松井宗一

小菅(成島)かづ(昭和19年卒) 佐野市

平成29年4月に物故いたしました。お世話になりました。長男 小菅敏雄

渡辺(東山)由三枝(昭和20年卒) 岡山市

平成三十年五月に亡くなりました。今までありがとうございました。

萩谷(山口)千鶴子(昭和27年卒) 蓮田市

第四回卒業生萩谷千鶴子は平成30年7月に逝去しました。生前御交誼下さった方々に感謝申し上げます。萩谷とも子

武田俊一(昭和29年卒) 船橋市

父、武田俊一は2015年5月24日に80才にて永眠致しました。生前はお世話になりました。ありがとうございました。今

を拝読。岸信介先輩の綴られた伊豆合宿の時を共有した者として、ああ思い出も一緒！と感慨無量でした。有難うございます。

島宗俊郎(昭和36年卒) 名古屋市

短大で観光を教えており、孫の様な学生と戦っています。孫が東京大学理Ⅱに現役合格し、驚いています。

林野 宏(昭和36年卒) 文京区

我々が創ったバドミントン部の後輩が協会の幹部になり、オグシオを育てて更に躍進著しいことになり嬉しい限りです。創ったメンバーの殆どこの世にいませんが。

佐野和義(昭和39年卒) さいたま市

36年入学一年G組クラス会。一泊旅行で湯河原へ行く飲んで食べておしゃべりして男性6名女性8名、古稀をすぎても皆さん益々元気です。西高生でよかったです！

鈴木(武田)由美子(昭和39年卒) 富士見市

卒業はオリンピックの年。バスケの試合を見に行った。どこの国かは記憶に無いが、テレビで見たマラソン、バレーボールに熱狂しあの当時から鮮やかに甦ります。

根本明德(昭和39年卒) 水戸市

インバウンド推進の仕事は三月末退職で一段落。今後は剣道、尺八演奏、フィッティングクルーズ等趣味の三本立てを楽しみながら人生を過ごしたいと思っています。

中塚(横山)俊子(昭和40年卒) 町田市

誌面に、初恋の人の名を見つけ老いた心に、桜花びら 地毛証明書や、道徳教育が強化されている現在、物事を己れで考える力が失われています。西高の校風が貴重です。

鶴澤利雄(昭和41年卒) 習志野市

昨年、古希を迎え、ゆっくり年金生活と引きや、複数社から頼まれ顧問をしています。海外企業もお手伝いしています。健康の為しばらくは続けるつもりです。

平田春夫(昭和41年卒) 名古屋市

今年で古希を迎えましたが、平日はこれから忙しくなる野菜作りと、カメラを持つての旅行、週末は三河湾でのヨットと元気にやっています。

増子啓三(昭和41年卒) 青梅市

昨年の12月、1966年3月卒業組の合同学年会が開かれ、充実した時間を過ごすことができましたが、自分のクラスの参加が少なく、逢いたい方に逢えないのは一抹の寂しさもありました。もはや今後逢うことは永遠に不可であり、人生の不可思議さを感じます。

小倉清貴(昭和44年卒) 川崎市

現在福祉の勉強中です。

桂(渡邊)篤子(昭和44年卒) 座間市

住居表示の変更で住所が変わりました。3月に高校1年生のクラス会があるそうで楽しみです。50数年ぶり、何人集まるのかな？

甘利(小田)由美(昭和45年卒) 厚木市

今年度も中学校の学習支援員として多勢の子供達と関わって、少しでも社会のお役に立てたらと思っています。将来を荷う大切な宝、楽しくがんばろうと思います。

和田(大日方)和子(昭和45年卒) さいたま市

仕事を引退して、孫の食事係を担当しています。日々のメニューを考える事は結構楽しいもので、食育の意義を感じています。和食はとても素晴らしいですね。

川上(風間)明美(昭和47年卒) さいたま市

自営業に嫁いだので休みも少なく、二人の子育てをしながら超多忙な日々を過ごしましたが、三年前に閉店し、今は好きな事だけをしてのんびり暮らしています。

新井博之(昭和47年卒) さいたま市

41年勤務した日立を2月に退職。現在仏教の読書と県内の歴史を調べ、名所旧跡を巡っています。昨年初孫が誕生し、図書館では乱読を楽しみ、また少し働きます。

岩城真幸(昭和47年卒) 北広島市

昨年は65才になりいよいよ前期高齢者に。人生100年あと何年生きられるか？本年は元号も変わり、昭和生まれはいよいよ遠くになりにつけり！！

加藤輝男(昭和47年卒) さいたま市

七福神の湯飲み茶碗が衣装ケースから出て来ました。理事のみなさんどうぞ宜しくお願いいたします。

後の更なる貴校のご発展をお祈り致します。 長女

加藤寛之(昭和30年卒) 太田市

夫、加藤寛之は平成29年12月20日に他界しました。存命中はお世話になりました。ありがとうございました。

佐藤純一(昭和32年卒) 西宮市

平成30年1月28日に80歳で永眠いたしました。生前はたいへんお世話になりました。同窓生の皆様のご健康とご多幸を父は天国から祈っていると幸いです。ありがとうございました。

長男 佐藤一哉

横山(保坂)栄子(昭和32年卒) 越谷市

横山栄子は二月一日に死去いたしましたのでご連絡します。

金子英紀(昭和34年卒) さいたま市

金子英紀(夫)は平成十五年五月に逝去いたしました。皆様にはいろいろお世話になりました。浦和西高の発展を願っております。

小堤公明(昭和34年卒) 川口市

主人が平成二十八年に他界致しました。生前はお世話になりました。小堤芳枝

齋藤 肇(昭和34年卒) さいたま市

そよ風がなやましく吹く季節となりました。夫齋藤肇は平成29年8月30日に他界致しました。生前のご芳情を厚くお礼申し上げます。皆様の益々の御活躍お祈り致します。本当にありがとうございました。 齋藤紘子(妻)

宇田川(山田)成子(昭和47年卒) 北本市

昨年はじめて総会に出席し、記念授業を受け、懇親パーティーに出、大声で校歌を歌いました。気持ち良かったです。久々の西高楽しかったです。

石川(四方田)弘美(昭和47年卒) 静岡市

結婚と同時に港町清水に移り住んで早38年。しまい仕度も意識しながら、新しい事にも挑戦したいと、アンテナを張っています。

川上行生(昭和48年卒) さいたま市

高校時代には買えなかったマーチンのギターを買って、毎日、ビートルズやニールヤングの曲を練習しています。今度誰かといっしょに歌いたいなー！

松岡(錫培)毅(昭和48年卒) 藤沢市

40年間の会社勤務の卒業旅行でエジプトを訪問し次の10年の生活方針のヒントを得ました。

江原広正(昭和49年卒) さいたま市

先日、同期の田原氏と当時剣道部顧問の矢嶋先生宅に伺い、四十年ぶりにお会いし、剣道部名簿等を拝見しながら、楽しくお酒をいただきました。

金子(酒井)純子(昭和49年卒) 小平市

桜で有名な小金井公園も近い花小金井に住んで三十八年。それでも埼玉がなつかしいです。クラス会で皆様にお会い出来て嬉しい限り。また楽しみにしています。

大崎栄一(昭和50年卒) さいたま市

年金を受給する年齢になりました。とても有難いことです。娘も西麗会員で婚活中です。父の私も応援しています。適齢期の息子さんとかいらっしやいませんか。

小島健一(昭和50年卒) 大阪市

ミニ四駆。20年前息子がはまっていた時とは君子豹変状態、孫の為と称し、夜な夜な改造の日々。コースに集う若者達は皆、見掛けによらずとても親切と知りました。

齊田保彦(昭和50年卒) 久喜市

地元の中学校でギターを教えています！久喜マラソン参加します。

槌田(赤羽根)敬子(昭和51年卒) 神戸市

皆様お元気ですか？還暦同窓会に出席できず残念でした。三月に合唱、四月に当教室の発表会が続ぎ、足腰がもつかしら…と不安な年齢になりました。頑張ります！

小林成信(昭和51年卒) 世田谷区

在カルガリー総領事の辞令を受けました。八千人の在留邦人と日本の十四倍の面積を所管します。西高関係者の海外での安全、御発展をカナダより祈念致します。

鴨原勝久(昭和51年卒) 川口市

還暦の同窓会に参加出来たことが大きな恵みでした。気持ちだけは高校生に戻り、先生方や部活のメンバー達、多くの人に支えられてきたことに感謝の時間でした。

武藤(鈴木)英子(昭和53年卒) さいたま市

来年は還暦を迎えますね。皆さんと集える会があれば嬉しいです。個人事業主ですので時間は自由になります。何かお手伝いできることがあればお声かけ下さい。

森田欣充(昭和53年卒) 桶川市

会報を頂くと、高校生活がつい昨日の様に西高OBの甥も既に社会人になり、私の隣にはもう孫が居る年令に。来年は60才の同窓会あたりをを考える事も…です。

鳥羽(吉沢)恵(昭和53年卒) さいたま市

保育士23年、映画関係NPO10年、今は日本共産党で働いています。今年はベトナム文化大学で「青い空は」を歌い、女性政治囚と交流して来ました。

榎本 滋(昭和54年卒) さいたま市

昨年、卒業後はじめて浦西サッカー部応援のためサイタマスタジアムに行きました。惜しくも全国大会には行けませんでした。文が文武両道の西高魂をみられてよかったです。

西 尋司(昭和54年卒) 愛知県丹羽郡

楚山大和先生の情熱的英語の授業は、今も忘れられません。個性的な先生方に感動した西高時代でした。還暦同窓会には、必ず参加します。現在、定年後進路検討中。

石塚哲也(昭和56年卒) 北本市

小中で図工美術教育に携わり三十年以上経ちます。今、仕事ができているのも、西高時代の学びや友との出会い、恩師の教えに支えられていると感謝しております。

金子昌弘(昭和35年卒) さいたま市

死亡しました。

津村正昭(昭和35年卒) 千葉市

夫 津村正昭は、二〇一七年十一月亡くなりました。お知らせ致します。

川合(松原)桂子(昭和35年卒) さいたま市

母、川合桂子(旧姓松原)が平成30年4月に急逝しました。祖母松原睦月、母川合桂子、そして私川合保成(昭和61年卒)と三代続けて西高にお世話になりました。

樽本(白石)美穂(昭和37年卒) さいたま市

妻、樽本美穂は平成30年2月6日に亡くなりました。

森川幹郎(昭和37年卒) さいたま市

主人は2017年9月に亡くなりました。今までありがとうございました。妻・森川和子

江藤正修(昭和38年卒) 加須市

江藤正修は2017年5月24日永眠いたしました。

和田淳一(昭和40年卒) さいたま市

平成30年8月1日71歳で逝去致しました。48年間西高女子バスケットボール部コーチとして活動しました。現顧問の中村敬子先生が着任されると同時に一線をしりぞきました。肺気腫を患い、入院生活が続いておりましたが、暑い夏の日息を引き取りました。妻より

山本(吉田)幸枝(昭和42年卒) 江東区

母、山本幸枝(旧姓吉田)は、平成29

後藤(岡田)佳子(昭和58年卒) 新宿区
職場に西高の卒業生がいて、とても懐かしくなりました。

桃井雅史(昭和59年卒) 新発田市

浦和西高を卒業して新潟大学へ。そのま
まこの地に住みつきはや三十五年目。国
語教師としても「古株」と言われるよう
になりました。同窓会があればすぐ戻り
ます(笑)。

清水(西村)幸子(昭和61年卒) 板橋区

実家に届く会報を拝読して、同期の有志
同窓会の記事に触れ、西高時代が懐かし
く思い出されました。機会があれば次回
の同窓会に参加してみたいです。

池上 努(昭和62年卒) 戸田市

バンコクで仕事をしています。こちらで
西高の卒業生と偶然会う事があり、びつ
くりしました。

中井(新谷)葉子(昭和63年卒) 吹田市

長く辛い受験生活を親子で乗り切り、無
事「灘中学校」に息子が合格しました。
五月の連休には「灘校祭」にお近くの方
は是非遊びに来てください。

馬場則雄(平成元年卒) さいたま市

私はスマホがキライでした。ですが昨年
スマホデビューしました。今やスマホな
しでは生きていけないくらいスマホが好
きになってしまいました。スタミナ撮っ
ています。

竹内大介(平成5年卒) 桶川市

土地家屋調査士事務所を開業して15年目
となりました。また、子どもの小学校の
PTAの役員として3年目となりました。
日々を大切にしたいですね。

伊藤(野口)久美子(平成5年卒) 熊谷市

本年4月より、さいたま市南区にて小児
科・整形外科併設のクリニックを開業い
たしました。実父(昭和40年卒 野口哲夫)
との共同開業です。

市川英治(平成9年卒) 板橋区

Bijbon (Twitter) で、ごく稀につぶやい
ております。気がつけば今年40才。M. A.
が懐かしい…。

東村(山田)真純(平成9年卒) 神戸市

昨年、夫の地元の神戸市須磨区へ転居し
ました。西野朗サッカー日本監督の講演
を聞いたことが懐かしいです。

北林(小笠原)日菜(平成12年卒) 茨城県稲敷郡

毎年楽しみにしております。現在は二人
の子どもが眠ったあとに細々と出版社か
らの仕事をしています。西高時代の友人
と子連れで遊ぶこともあり、感慨深いです。

田中啓介(平成12年卒) 柏市

いつも楽しみにしております。今は防衛
省で勤務しつつ、家族4人で千葉県柏市
に在住しています。

橋本正法(平成12年卒) 八潮市

2年後にはプロテストに合格できるよう
週3で練習中です。苦しいときは西高魂

山田(荒木)真澄(平成13年卒) 台東区

スカイツリーと花火大会が良く見えるマ
ンションに引越しました。仕事と育児に
毎日頑張っています。この度第二子を授
かりました。

野田(田辺)実葉(平成15年卒) 東村山市

いつもありがとうございます。現在会社
員をしております。夫と2人の息子と4人暮
らします。いつか西高に遊びに行きたい
です。

広報部よりお願い

いつも近況ハガキをありがとうございます。
投函する前に、もう一度、ご確認ください。

- 住所・氏名をお書きください。
毎年、お名前の記載のないハガキがあります。
- 切手をお確かめください。
62円切手をお貼りください。



年10月に永眠しました。同窓生の皆様
には生前母がお世話になりました。ごとう
ございました。古希の同窓会目前にし
て残念がっていると思います。娘

大久保恵(昭和43年卒) さいたま市

夫 大久保恵は五月十七日に急逝しま
した。いつも西高の思い出を聞かされ
ました。有難うございました。妻

黒田(三井)泊(昭和44年卒) 相模原市

平成27年1月4日永眠いたしました。
生前のご厚情に感謝申し上げます。

夫 黒田祝

真田(近江)順子(昭和45年卒) さいたま市

真田(近江)順子の長男・真田幸と申
します。母・真田順子は平成二十九年
五月十八日、他界いたしましたのでご
報告いたします。

安田(市川)泰子(昭和46年卒) 千葉市

昨年6月病死しました。

賀山雅弘(昭和46年卒) 鴻巣市

平成30年5月14日、他界いたしました。
生前のご厚情に感謝申し上げます。
兄 賀山憲夫

田口(矢嶋)里香(昭和55年卒) 豊島区

平成30年6月8日に亡くなりました。
生前のご厚情に感謝申し上げます。
夫・田口久徳

田口敬一(昭和60年卒) さいたま市

田口敬一は29年12月15日に死去しまし
たのでお知らせ申します。生前の御友
誼に感謝致します。父・田口敬雄



西麗会員の西野朗さん（昭和49年卒）がサッカー日本代表監督に就任し、ワールドカップ（以下、W杯）ロシア大会で大活躍したことはすべての西高関係者にとって誇らしく、うれしいことでした。

大会期間中の西野さんの冷静な采配ぶりは大きな話題となり、日本中がテレビに向かって声援を送りました。



西野さんは昭和46年に浦和西高校に入学し、サッカー部では全国高校選手権大会ベスト8の成績を収めました。西高卒業後は早稲田大学教育学部に進学。その後、柏レイソルやガンバ大阪の監督を経て日本サッカー協会理事、技術委員長などを務めました。

前監督の突然の解任に伴い、大会開幕直前の4月9日に監督に就任。W杯ロシア大会では初戦のコロンビア戦に

勝利、第2戦のセネガル戦では引き分け（勝ち点1）、第3戦のポーランド戦で敗れたものの16強進出を決めました。決勝トーナメントではベルギーと対戦し、2-3で敗れ、惜しくも日本代表初のベスト8進出を逃しました。

多くの夢と感動を日本中に届けて、西野さんは7月末に監督を退任しました。その後西野さんはさいたま市より「スポーツ特別功労賞」を、また埼玉県からは「彩の国功労賞」を受賞されました。

W杯ロシア大会前後に寄せられたメッセージを紹介します。



■近年の西高サッカー部と西野ジャパンの活躍はOBとしてうれしい限りです。（昭和48年卒 松岡 毅）

■母校浦和西高の星、西野朗監督、がんばれ。（昭和35年卒 吉村 克昌）

■西野先輩！ワールドカップでぜひ、奇跡を起こして！（昭和50年卒 齊田 保彦）

■サッカーW杯ロシア大会。歓喜と称賛、失望と怒号。そういう世界に身を置き、その中で生きていく覚悟。西野さん、見せていただききました。誇りに思います。（昭和49年卒 加藤えみ子）

■西野朗氏が日本代表の監督に就任してうれしいです。この難局を乗り切ってください。応援しています。西高時代の西野氏にときめいた気持ち、懐かしく思い出しました。（昭和51年卒 加納 弘子）

■サッカーW杯の日本代表監督に西高OBの西野さんが就任してからというものの、私たちのまわりは大騒ぎでした。たぶん同窓生一同みな同じ気持ちで応援していたと思います。西野監督、感動をありがとうございます。（昭和51年卒 石川 理恵）

■2018W杯ロシア大会では西高サッカー部の西野朗さんが日本代表監督として活躍されました。「浦和西高」の名前が日本中に轟いた瞬間にときめきました。（昭和53年卒 小田 郁子）

■西野さん率いる日本代表の活躍から、困難な状況でもチームで

団結すれば何事も成し遂げられるということを学びました。今後の実践に生かしていきます。（平成21年卒 サッカー部OB 黒崎 直樹）

■西野監督は浦和西高校の誇りです。西野監督の母校であり、全国出場校として注目されるよう、練習から汗を流していきたいと思えます。（男子サッカー部部長 石川 駿）

■西野ジャパンのW杯での活躍、チームでひとつの目標に向けひたむきに努力する姿に感動しました。私たちも目標達成に向け頑張ります。（女子サッカー部部長 八谷 真衣）



「西野 朗氏 慰労会」にて

浦和西高サッカー部OB会と西野朗さんのご好意により同会ホームページより転載。不許複製。

埼玉県教育環境整備基金への

寄付は達成しました。

2018年3月にお届けした西麗会会報において母校浦和西高校が部活動環境整備のための寄付を募っていることをお伝えしました。

西麗会では理事会決議により昨年度の会報約2万通に、浦和西高校が作成した趣意書を同封しました。

このたび目標額が満たされ、寄付の受け付けは終了しました。

浦和西高校・高野校長より西麗会会員にご挨拶をいただきました。

西麗会会員の皆さまへ

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、平成29年9月より実施しております、本校の教育環境整備充実プラン『UN強靱化プロジェクト』への寄付の募集に際しましては、西麗会会員の皆さまへのご案内に協力をいただき、誠にありがとうございました。

おかげさまで、この度、プランの目標額に到達し、寄付の受け付けを終了いたしましたことをご報告させていただきます。あらためてご寄付をいただいた皆さまに、感謝を申し上げます。さて、本校の『UN強靱化プロジェクト』は、各部活動において、季節を問わず質の高いトレーニングを実施するため、2つのグラウンドに照明を設置し、全国や関東大会での上位入賞を目指すものでございます。今後は予算措置状況にもよりませんが、早ければ今夏までに、工事に着手できる見込みです。今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県立浦和西高等学校長 高野 能弘

浦和西高校の歴史

悴田^{かせだ}てる先生逝く

本紙12面「あの先生は今」の計報欄でもお伝えしましたが、家庭科の悴田^{かせだ}てる先生が平成30年3月31日にご逝去されました。

悴田先生は太平洋戦争末期の昭和20年、浦和西高校の前身である浦和第二高等学校に家庭科教諭として赴任され、旧制第9、10、11回生の担任を務められました。戦争が終わり、浦和第二女子高校では新制第1回生の担任、その後、浦和西高校になつてからも何度も担任を持たれています。

驚くべきことに悴田先生は昭和55年の定年まで、浦和西高校で家庭科教育一筋に尽くされました。そして定年退職後も引き続き非常勤講師として昭和59年まで西高の教壇に立たれました。

40年間の教職生活を終えた先生は、さらに浦和西高校の嘱託茶道教授として平成9年までの14年間、茶道を指導されました。戦中、戦後、平成の54年間を、まさに浦

和西高校の歴史とともに歩まれました。



悴田先生は俳句もたしなまれ、晩年には「NHK俳句」にも入選されて番組で紹介されるなど活躍されました。

54年間に教えられたたくさんの卒業生のことをいつも気に掛け、「あの先生は今」欄にも何度かメッセージを寄せてくださいました。悴田先生の近況が掲載されるたびに「悴田先生のメッセージに元気をもらいました」などの反響がたくさん届きました。

このたび、悴田先生はご遺志により浄財を浦和西高校のために献げられました。「おおごとにしてほしくない」とのことなのでこの場を借りての報告にとどめます。生涯にわたり浦和西高校と西高生を愛された悴田先生のお気持ち私たちは忘れることはないでしょう。悴田先生、長い間ありがとうございました。

二〇一八年度

寄付者のお名前

(敬称略)

毎年、多くの方からご寄付をいただき、ありがとうございます。

西麗会の活動は、卒業生が入会する際の終身会費と、その後の任意のご寄付によって支えられています。

皆様からのご寄付は、現役の西高生の自治的活動を応援するための「西高祭援助金」のほか、入学時の記念品卒業時の卒業証書ケースの贈呈など、後輩たちにも喜んでいただいております。

千円、二千円の尊いご寄付がたくさんの方から寄せられると、現役西高生への応援にもなります。どうぞよろしくお願いいたします。

昭和29年卒(6回)

岩出富美子 黒澤和子
守屋郁子 長島福
大谷康代 金子美里
西口和子

昭和35年卒(12回)

竹ノ谷裕子 松田正剛
高橋恵美子 正野進
八木正 吉村克昌

昭和43年卒(20回)

内山一郎 金子芳雄
後藤鏡四郎 村井勝美
佐藤誠造 森茂
山田信彦

昭和30年卒(7回)

小林茂水 松崎洋右
森井良子 山田勝弘

昭和36年卒(13回)

中川明紀子 八本さと子
安田美代子 輿水敏男
高橋司全 青山明子
海老原稔 齊須祥子
大森正明 齋藤庸夫
島宗俊郎 豊島義明
林野宏

昭和40年卒(17回)

平瀬明男 市川薫
三鬼一朗 増田京子
渡辺美佐子 新藤幸雄
服部光之 中塚俊子
中村邦子 金子揚子
高田博子

昭和31年卒(8回)

新井英一 難波竹一郎
松本晃 山根祥二
栗本東子 齋藤精史
冷水俊朗 荒井利尚
原田幸子

昭和37年卒(14回)

長本和子 藤田静子
日暮信子 福島眞砂代
深山孝子 林聡慧
善林彬人 富田鎮雄
齋藤俊和 野田剛
日暮幹雄 細田勝彦
森川幹郎 白鳥進
鈴木寧照 吉岡信二

昭和41年卒(18回)

鶴澤利雄 橘優
蕪木弘子 栗毛野ゆみ子
西野久美子 宇根等
新藤文男 江川清
岸みや子 佐藤裕子
関根耀子 高橋みつ子
森下ひろみ 池澤堯彦
佐野茂 増子啓三
松村光雄 瀬田充子
池田光甫 大熊幸雄
平田春夫

昭和45年卒(22回)

吉田和枝 島崎富夫
大類由美子 綿貫保子
島茂美 花井ちえ子
島泰子 永井隆史
阿部博之 新井康俊
上野邦雄 金子弘
塚原重和 吉田伸
田村義郎 井原誠吉

昭和13年卒(旧1回)

中村きく

昭和24年卒(旧12回)

天野美子

昭和32年卒(9回)

今井忠 佐藤純一
門本ヨリ子 小林久江
坂口清子 立川武司
野中尚武 府川代四男

昭和14年卒(旧2回)

鎌木美恵子

昭和25年卒(2回)

大澤志女乃 河岡克子
鈴木和子 宮田仁子

昭和33年卒(10回)

豊島泰之 古畑喜美子
柿沼保吉 七澤敏子
成田誠 太田美智子
高井和美 本間恵美子

昭和38年卒(15回)

高地甚子 入澤洋子
森川和子 眞田孝雄
中河原喬一 木戸晃
橋本保彦

昭和42年卒(19回)

稲垣昇 近藤徳明
轟和夫 間中一江
伊藤さみ子 丸山宮子
阿部輝雄 今井登志樹
上倉功 齊藤勉
井上千津子 榎本信子
河合のり子 佐竹恵津子
福原佐保子 松本知歌子
秋広小菊 松本登美子
佐藤良雄 齊藤憲一

昭和46年卒(23回)

澤井敏夫 岸文子
田中敏雄 船津徳英
武藤智江 今成博茂
上里光一 栗山秀春
浅見敏雄

昭和19年卒(旧7回)

井出みつ子 小熊則子
小菅かづ 小林信子
清水和子

昭和26年卒(3回)

小川君子 岡田幸子
粕川初枝 高際ひさ子

昭和34年卒(11回)

佐藤靖子 小川紀夫
清山和男 宮澤恒平
高橋幸雄 中枝和子
野々垣芳枝 富田邦俊
川畑啓子 井川征郎
吉田維夫

昭和39年卒(16回)

鈴木由美子 那須雅江
山田菜穂子 青柳信子
村井公子 安達時彦
根本明德 田中裕子
守川黎子 小寺秀仁
佐野和義 矢部公利
山田康博 宇治田進

昭和20年卒(旧8回)

杉山幸子

昭和28年卒(5回)

正木敏雄 大川長信
川岸萬知太郎

昭和47年卒(24回)

福井一夫 堀富雄
宇田川成子 岩城真幸
塩見幸子 野口万里子
今岡章夫 志水茂

昭和23年卒(旧11回)

花井喜久江

- 細田陽子 白石哲郎
- 新井博之 兼良子
- 加藤輝男 白井晴美
- 広瀬千代子 福田定男
- 間山和幸 高橋理恵子
- 小谷野博史 柳沢啓二
- 津田和子
- 高坂省吾 石川理恵
- 昭52年卒(29回) 鈴木実千代 関口幸子
- 亀山浩一 藤原秀夫
- 浅見哲哉
- 昭53年卒(30回) 新藤葉子 荒井正明
- 河野正 森田欣充
- 武藤英子 内田圭子
- 小田郁子 鳥羽恵
- 渡部智博 赤羽明宏
- 山田治 阿野清治
- 和田哲也 西山幸代
- 昭54年卒(31回) 中村裕一 富田由賀子
- 小見恵一 西尋司
- 山田誠一 田村義明
- 小林功 泉名泰之
- 桐永香百里
- 昭55年卒(32回) 松本和幸 信沢雅志
- 杉山利行 杉井美佐子
- 根本みどり 小野裕子
- 石川優子 今原真理子
- 平井順子 田口久徳
- 高橋かほる
- 昭56年卒(33回) 千田寛 戸田仁
- 近藤久美子 吉岡典子
- 吉田新一 山崎智与里
- 中村敬子 宝寺浩
- 昭57年卒(34回) 中野則子 福島久美子
- 吉田浩之 山崎正一
- 小橋和則 福川英司
- 山下研二 追立真由美
- 平井敦子 中山晴喜
- 田中直美
- 昭58年卒(35回) 久保村康史 佐藤真澄
- 忠末修二 羽田俊之
- 昭59年卒(36回) 相沢浩幸 濱野広悦
- 中西博子 伊藤育子
- 三野裕之 芳賀敦子
- 渡邊ルミ
- 昭60年卒(37回) 山中英美 玄間千秋
- 間瀬功一 吉井和子
- 江草文子 加藤美和
- 設楽信生 西方智美
- 青木香 大熊康典
- 佐藤幸江 増田恵子
- 児玉朋子
- 昭61年卒(38回) 信田照幸 石川幸
- 長谷川友孝 大沼孝明
- 相沢喜一郎 大富直輝
- 佐藤洋子 鷲林潤壹
- 菅間智義
- 昭62年卒(39回) 池上努 島村明美
- 山内垂矢子 中澤淳人
- 田中広子
- 昭63年卒(40回) 奥山信男 島田貴子
- 中井葉子
- 平成元年卒(41回) 笹本紀子 楠瀬久美子
- 平成2年卒(42回) 森切瑞恵 北原路子
- 奥山真理 森下裕美子
- 依知之
- 平成3年卒(43回) 魚住公成
- 平成4年卒(44回) 大西徹 梅澤正尚
- 橋本雅子 本間幸信
- 増沢智成
- 平成5年卒(45回) 澤田信義 竹内大介
- 平成6年卒(46回) 佐藤貴史 竹之内俊
- 実藤雅史 岩本和久
- 澤田尚美
- 平成7年卒(47回) 市原雄心 金杉太朗
- 平成10年卒(50回) 片岡浩一
- 平成11年卒(51回) 半田亮子 阿部愛
- 藤見歩 久良木基広
- 平成12年卒(52回) 野口渡 田中啓介
- 京極弘子 橋本正法
- 平成13年卒(53回) 島山真澄 原田尚仁
- 市村里紗
- 平成14年卒(54回) 有馬元明 榎本淳
- 平成15年卒(55回) 織田博子 榊愛郎
- 平成16年卒(56回) 坂西野風子 加藤まみ
- 平成18年卒(58回) 黒米敏弘 下山繁紀
- 平成19年卒(59回) 三善隆弘 松田裕太郎
- 上原知江
- 平成20年卒(60回) 並木萌子
- 平成21年卒(61回) 松田巴
- 平成22年卒(62回) 坂下朝美
- 平成24年卒(64回) 村田梨恵 大崎友理華
- 平成26年卒(66回) 吉岡希光
- 昭50年卒(27回) 小島健一 道下敦子
- 富樫正紀 竹内斎
- 江口克己 佐久間瑞子
- 青山篤 加藤修一
- 夏堀操 大崎栄一
- 河村郷子 齊藤登
- 豊田勉
- 昭51年卒(28回) 村松昭彦 池田啓一
- 嶋原勝久 船橋由美
- 伊藤京子 大迫義谷

- 平成27年卒(67回) 加藤幹哉 塚崎聡
- 平成30年卒(70回) 森切遥海
- 旧職員 菅原鉄也 先生

寄付には ATM もご利用ください

いつも尊いご寄付をありがとうございます。
 4月1日より、払込料金が値上げとなり、寄付1件あたり窓口利用は200円、ATM利用は150円を西麗会が負担します。ご面倒ですが、できるだけATMのご利用をお願いします。



あの先生は今



平成三十年五月二十七日に開催の西麗会総会の案内状にご回答いただいた先生方の返信の一部を掲載いたします。誌面の都合で全ての先生方のご紹介ができませんことをお詫びいたします。

●坂田恵一(理科) 国分寺市

西高に在職した十年間のうち後半は組合の先生方との戦いでした。退職後四年目になります。越谷南、川口北、川越南と渡り歩き、今年は志木高校に勤務しています。

●嶋村和夫(英語) さいたま市

教員生活の18年間を浦和西高で過ごした私にとって、まさに西高は忘れられない「母校」です。同僚の菅原先生の記念授業「徒然草の魅力」楽しみにしています。

●菅原鉄也(国語) さいたま市

総会の記念授業では、お世話になりました。勉強する機会を与えて下さったことに、感謝申し上げます。現在も岩槻北陵高校にて、フルタイムで勤務しております。

●館野俊則(国語) 東松山市

七十三歳で国語の教員を隠退。五十年間で十三の学校で授業をやったことになりました。さて、これから体を鍛え直して、できることはあれこれ...と考えています。

●中村正美(英語) 川越市

新任として赴任し限りなくお世話になった西高。ライフ・ワークとなった英語スピーチ指導・実践を学んだのも浦和西でした。西高はスペシャルで、心の古里です。

●堀口幸夫(教頭・社会) 比企郡

昭和の終りごろの教頭です。川幅日本一と大書された看板の建っている東松山鴻巣県道の荒川堤防のあたりを、ほぼ毎日

散歩しています。西高の発展を祈念して

●丸山光夫(数学) 鴻巣市

総会では大変お世話になりました。二十余年ぶりの西高。正門・記念館・グラウンド・ゆりの木そして授業?...楽しかったです。アマオケと伴に毎日を過ごしています。

●森本恵美子(国語) さいたま市

三年前に定年退職しました。大学の社会人対象の講座で文学や芸術を学んでいます。五木寛之氏の「百寺巡礼」に触発され、寺社巡りを始めました。

●山口畑一(社会) さいたま市

農民美術木彫人形の国定忠治は新治村の木工組合の青年が昭和九年頃作ったことが京都帝国大学の発刊した日本木材工芸に依り解る迄に二十年かかったが嬉しかったです。また、本年一月二十日越谷市立図書館で太平洋戦争下の生活と題し講演しました。「常久に不戦誓いし九条を胸に刻みて共に進まむ」の歌を詠み平和の大切さを訴えました。

●山本康義(国語) さいたま市

三郷工業技術高校で、西高で一緒に過ごしていた、英語科の嶋村和夫先生、保健体育科の浦山秀樹先生と、楽しい日々を過ごさせていだいております。

●吉住香織(英語) 川口市

西麗会会報懐かしく読んでおります。特に今年是最初の卒業生や初任時の卒業生にお会い出来る思い出深い年となります。

た。仕事はまだ現役で神田外語大学に勤めています。

●吉住登喜江(事務) 鴻巣市

なつかしい西麗会会報をいただき嬉しく思いました。埼玉県家庭教育アドバイザーとして地元の小学校に行ったり公民館の子供の部屋で赤ちゃん幼児や若い母親の方々から若さをいただいております。

●吉住知文(社会) 川口市

三月末に駿河台大学を定年退職しました。インド研究に時間を注げることが大きな喜びです。また海外旅行に今まで以上に行けるようになることも楽しみです。

●和田幸男(地理) 比企郡

西麗会会報第42号、嬉しく拝読致しました。同窓生の活躍状況や西高教育の現状に接し、在職当時を回顧しています。会運営、発展の為に各役員の尽力に感謝し、盛会を祈ります。

訃報

悴田^{ひびだ}てる先生(家庭科) さいたま市
平成30年3月31日に亡くなりました。

齋藤 恂先生(国語) 銚田市

平成29年11月29日79才にて逝去いたしました。生前の御厚情に感謝いたします。 妻 齋藤對弓

●小林 功(国・司) さいたま市

勤務校に小池創さん(2004年卒)が赴任し、同僚として勤務しています。忙しい職場なので「西高時代の思い出を語り合おう」という機会はありませんが、うれしさと気恥ずかしさがこみあげてきます。

●小川 均(理科) さいたま市

退職時に買った畑に、毎年新しい作物の栽培にチャレンジしております。今年はずいぶんサトウキビを植えました。甘いサトウになるか苦いサトウになるか、楽しみです。

●石渡明夫(社会) さいたま市

さいたま桜高等学校で週三日、畑違いなことを教えて(教わって?)います。そろそろ歴史の勉強に専念したいとは思っています...

●荒井 桂(社会) 東松山市

古代インドの聖人が人の一生を学生期・家住期・林住期・遊行期の四つに区分しました。小生今八十二歳、遊行期に在りて老いの人生を楽しんでいます。日日は好日。



- 女子サッカー部は関東大会に出場しベスト8となりました。
- 男子サッカー部は選手権埼玉県予選でベスト16でした。
- 女子空手部は県新人戦大会団体組手で5位に入賞しました。
- 男子空手部は県新人戦大会中量級で山田大輝さんが、重量級で岡本尚菜さんが共にベスト8となりました。
- ハンドボール部は男子がさいたま市民大会で準優勝しました。
- 水泳部は埼玉県公立高校水泳競技大会で鈴木花菜さんが、平泳ぎ50mで6位、個人メドレー200mで7位に入賞しました。
- バドミントン部は県会長杯シングルス大会Hブロックで北岡未唯さんが3位に入賞しました。
- 書道部は第37回全国書画展覧会ふれあい書道展で山内結衣さんが特選に選ばれました。
- テニス部は県新人戦大会、県大会に出場しました。
- 弓道部は県央支部大会で女子団体3位に入賞しました。
- 男子バスケットボール部は夏季南部

支部大会で7位に入賞しました。
 ○女子バスケットボール部はウィンターカップ埼玉県予選でベスト8となりました。

○本会員で、カンツオーネ歌手の加藤順子さんは、9月9日第68回西高祭のPTA文化講演会において「元気になるカンツオーネ」〜歌って楽しい発声美容体操〜と題する講演を行いました。(文化祭での講演は二回目でした)

○第3回となる西麗会セミナーが、7月1日に「あなたの著作権、私の著作権」と題して、主に音楽著作権について、本会理事の増田裕一さん(昭和57年度卒)による講演があり、20名が参加しました。

○未来の種

本会員で平成9年卒業の弁護士の大塚信之介さんが2018年10月26日、1年生対象の進路講演会「未来の種」において「西高魂〜自主自立の精神」と題して講演を行いました。
 西高時代に生徒会活動に熱中し、大学は推薦で入学してチャレンジしなかった後悔、負い目感があり友人の資格試験合格が刺激になって司法試験にチャレンジを決意。毎年受け



続けたがなかなか合格せず諦めかけた時に大学の恩師から「君の人生だから」と励まされ力づけられた。弁護士の使命、弁護士バッジが何を表しているか、西高時代にたくさん議論したことが人を説得する弁護士の仕事に役立っており、自分で決め、限界を設けず、納得いくまでやり続けることが大事と語ってくれました。
 講演後の質疑応答も活発に行われ生徒たちの心にも深く響いた講演となりました。(事業部)

管弦楽部
第26回定期演奏会
 2019年5月5日(日)
 15:00 開場
 15:30 開演
 彩の国さいたま芸術劇場
 音楽ホール (入場無料)

お世話になった先生方
 平成30年度人事異動 (敬称略)

教頭	齊藤 浩	退職
国語	玉井 春美	退職
国語	串田 敏男	浦和第一女子高校
数学	齋藤 大揮	朝霞西高校
生物	三木 泰輔	大宮高校
化学	池田 岳郎	岩槻北陵高校
英語	柿澤 康明	総合教育センター
英語	鳥養 千鶴	南陵高校
数学	田中 政信	(私)武南高校
世界史	鳥居 誠	南陵高校
公民	新井 弘子	任期満了
数学	岡本由美子	草加東高校
公民	青山 文久	所沢西高校
生物	藤江 正一	大宮高校
養護	小柳 恭子	浦和北高校
事務主任	真中 弘子	けやき特別支援学校
事務主任	羽生田賢治	岩槻商業高校
事務主任	市川 彩人	上尾(定)
事務主任	横山かおり	幸手桜高校
業務専門員	池田やよい	任期満了



同窓会だより

今日だけ高校生

19回生古希の集い

今井 登志樹 (昭和42年卒)

『小津安二郎60歳・オードリー・ヘップバーン63歳・越路吹雪56歳・渥美清68歳……。若き日に仰ぎ見た星々の享年です。更に歳を重ねて、私たちなんと古希!!を迎えるまでになりました。それぞれがいるいろなドラマを掻き分け、乗り越えて今日があるのですが、ここまでを一つの〈達成〉として互いを寿ぎ、称え合うような集まりを学年同窓会として開催したいという呼びかけがあり、呼応して2018年11月11日に浦和に参集する企画が出来上がりました。会の主役は勿論、集まった皆さんですから、懐かしさ一杯に数時間を過ごすのですが会を主催する実行委員会では、seventyを迎えた日、seventeenのあの頃に戻ってみようという企みのもと、映像や音楽も用意しました。どうぞお気軽に、カジュアルな気分と服装でお出かけ下さい。楽しい一日を共に過ごしましょう。

会を終えて家路に着く道すがら、17歳のあなたはきっと、70歳のあなたの肩を抱いてくれることでしょう。』

この呼びかけに応え、150名の学友の参加を得て、無事会を終えました。次は喜寿??



第2回 昭和56年卒同窓会開催

吉田 新一 (昭和56年卒)

平成30年8月25日、浦和ワシントンホテルにて第33回生(昭和56年卒業)の同窓会を開催しました。2回目の開催となりましたが、目の開催となりましたが、梅澤清眞先生・柴崎充朗先生・仲西駿策先生・小野岳生先生・河野卓生先生・吉住知文先生・吉住(旧姓山村)香織先生をお迎えし、80名以上が集いました。

サッカー部を指導されていた仲西先生のご挨拶では、ワールドカップの話にも触れられ、大いに盛り上がり、あつという間に2時間半が過ぎました。

4年後に第3回を開催する予定ですが、次回は「還暦記念同窓会」となりますので、同級生皆さんの出席をお願いします。





浦和西高音楽部の会
 平成30年10月18日、浦和伊勢丹「パ
 ンケットルーム」で音楽部出身者の会
 合を開催しました。

幹事さん応援プラン

学年同窓会を計画している方にお知らせです。

- ①12月末日までに16ページ記載の西麗会メールアドレスあて、日時・会場をお知らせください。予告を会報に掲載することができます。
- ②最新の名簿データを宛名ラベルに打ち出して提供します。
- ③同窓会終了後、西麗会会報の「今日だけ高校生」の原稿と写真をお送りください。

*個人情報保護のため、原則として学年理事を通してお申し込みください(やむを得ない場合はメールにてご相談ください)。
 宛名ラベルの提供は年間1回に限ります。

第10回(昭和33年)〜第18回(昭和41年)卒の26名に加えて、第30回(昭和53年)卒2名を加えた、総勢28名での開催でした。

13回卒の大淵宏一さんのフルート演奏や、全日本合唱連盟理事長の岸信介さんからの音楽部の歴史や精神に関するお話は、音楽部に在籍した者にとって感慨深いものでした。

西高校歌と音楽部の愛唱歌を全員で歌って、お開きと致しました。

西麗会総会

2018.5.27

▲大熊会長にバトンタッチ

▲恒例となった集合写真

▲記念授業・菅原鉄也先生

5月26日(日) 母校で会いましょう

～ 西麗会総会のご案内 ～

日 時 2019年5月26日(日)
 10:30 総会開会
 11:30 記念授業
 12:40 懇親パーティー
 14:30 閉会予定

会 場 浦和西高50周年記念館

事前の申し込みは不要です。誘いあってお出かけください。



▲ 昨年の総会風景



▲ 懇親パーティー

今年の総会記念授業は英語の吉住香織先生

「グローバル時代の英語力」



吉住先生はお茶の水女子大学教育学科教育学専攻を卒業後、1979年から1989年迄10年間浦和西高に勤務されました。卒業したてで生徒たちとの年齢も近く、教える

ことが楽しくてその後の教員生活の素地を養えた時代だったと楽しそうに素敵な笑顔でお話してくださいました。教えるということは自分自身が豊かであること、生きる姿勢、人間性が大事であることが重要で、ご自身にゆとりがなくなってきたと感じられた時に同じ教員でいらつしやるご主人のお仕事に合わせて55歳で早期退職、1年間ロンドン大学に留学して修士課程を修了されました。この時が生涯で一番勉強したともお話されていました。

現在は立教大学と神田外語大学で英語科教育法、教育システムや試験指導などを担当していらつしやいます。世界で活躍している教え子たちとフェイスブックで繋がりが、皆の成長を目の当たりにできることはまさにグローバルな時代ならではのことだとおつしやっています。今回の授業「グローバル時代と英語力」はどんな楽しい授業になるでしょうか。教え子の皆さんも、残念ながらそうでなかった皆さんも吉住先生のポジティブパワーをもらいに母校に来ませんか。

文責 綿貫保子(昭和45年卒)

編集後記

西麗会会報第43号をお届けします。今号より編集体制が大きく変わりました。

まず、5年間西麗会広報部長として、広報活動の充実に寄与された大熊幸雄さんが西麗会会長に就任しました。この間会報のA4判化、カラー化が実現しました。

また、広報部長として昭和42年卒業の今井さんと杉村さんを迎えました。

広報部は8名体制で、昭和54年卒の小林が部長を務めます。どうぞよろしく願います。(小林)

広報部

- 小林 功・今井登志樹
- 杉村 長世・本間 葉子
- 堀田美枝子・岩本 和久
- 片岡 浩一・植田 高史

編集・発行
西麗会
発行人 大熊幸雄

〒330-0042
 埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1
 FAX 048(830)1117
 西麗会メールアドレス
 info@seireikai.org
 西麗会ホームページ
 http://www.seireikai.org/index.html